

# 新春を迎えて

下川町長 谷 一之



町民の皆様方には、輝かしい新年を健やかに迎えのこころと心よりお喜び申し上げますとともに、日頃より町政の発展に温かいご支援ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、スズキ株式会社との多大なるご支援により、宿泊研修交流施設「結いの森」をオープンすることができました。宿泊者と地域住民との交流を通じて地域経済の向上とともに五味温泉と連携した宿泊者の受入れ拡大を期待しています。人口減少と高齢化の進行により、地域課題が顕著になってきました。その解決に向けた取り組みとして、数社の

企業と「包括連携協定」を締結しました。企業の得意分野を施策に反映し、様々な視点から課題解決を図るとともに、地域内にノウハウの蓄積も期待できる有効な手段として、徐々に拡大していきたいと考えています。

新規就農者対策として、「上名寄集住住宅等整備事業」による住宅整備を取り進めて、地域に安心して生活することが可能になるとともに、「農業研修道場」による農業の担い手を育成して、基盤産業である農業の振興を図って参ります。

医療分野では、町立病院に「高速マルチスライスCT」を導入しました。立体画像や輪切画像による解析が可能となり、地域医療ネットワークシステム、遠隔画像診断支援システムや電子カルテ等を取り入れて、総合的に診断できる便利な病院施設を目指します。

一方で、サンルダム本體工事、最終年度を迎えて、工

事の完成とともに多くの事業所が町から退去します。今後は、サンルダムを活かした地域力の開発を進めていきたいと考えています。例えば、名寄下川間のサイクリングロードの中継地点やダム湖周辺を観光資源や憩いの場所にするなどが考えられます。町民の皆様からもご提案を寄せていただければ幸いです。

町内の商工業では慢性的な人材不足が続いています。この課題を解決に導くため、地域事業者の生産性の向上や優秀な人材の確保に資する「サテライトオフィスプロジェクト」を進めています。首都圏の企業が町内に事業所を設置していただき、町民の皆さまと連携して、地域資源を活用した新分野進出や新商品・新サービス開発など、人、もの、経済の活性化を図ります。

近年、下川町は幸いにも大きな災害に見舞われることがありませんが、南富良野町に代表されるような突発的な豪

雨により、大災害になったことは記憶に新しいところで。昨春秋には、多くの町民の皆様にご協力いただき、避難誘導訓練を実施し、避難所の設営や浸水を想定した訓練など、防災意識を高めることができました。

これからの本町は、世帯数の大きな変化はなくとも、転出及び自然減による人口減少は避けられません。このような中、「下川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」によって転入を促し、人口減少を緩やかにしながら若年者の人口割合を徐々に増加させて、職員とともに創意工夫と自己研鑽に努めながら、持続可能な地域社会と安心して暮らすことができる「幸せ日本一のみち」を目指します。

結びに本年が町民皆様にとりまして、素晴らしい1年になりますよう心からお祈りしまして、新年のご挨拶とします。

